



地区研修会

新潟地区 新潟東高校

PTA会長 津野 香

新潟地区高等学校PTA指導者研修会は、十一月二十二日(金)、じよいあす新潟会館にて開催されました。当日は、研修会に六十三名、教育懇談会には五十五名の皆さんからの参加をいただきました。研修会では、県教育庁生徒指導課副参事の久保俊幸様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防」について、ご講演をいただきました。いじめの定義の理解、保護者としての子どもとの関わり方、学校との連携の重要性をわかりやすく伝えていただきました。

新発田・村上地区

村中等教育学校

PTA会長 鈴木 渉

十一月二十二日(金)、大観荘せなみの湯を会場として、新発田・村上地区高等学校PTA研修会を開催いたしました。

当日は、十四校六十二名の皆さんにご参加いただき、おかげさまで盛会裏に終えることができました。

PTA活動報告では、各校とも参加者増のため、文化祭への関わりなど創意工夫を凝らした特色ある事業に取り組んでいる



引き続き、新潟経営

大学経営情報学部教授の中島純様より「家族地域とのつながりを築くコミュニケーション」と題して、ご講演をいただきました。地域とのつながりによって、学生のコミュニケーション力が成長を遂げる事例を紹介していただき、PTAとして、何か協力できるものはないかと深く考える機会を与えていただきました。

その後の教育懇談会では、各校における活動の情報交換が活発に行われ、大変有意義な時間となりました。

今後のPTA活動にむけて、とても貴重な一日となりましたことをご報告いたします。



様子がうかがえました。

県教育庁生徒指導課副参事の関口和之様からは、「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防」について、子が発するサインに気付くポイント等をご説明いただきました。

講演会では、新潟青陵大学教授の確井真史様から「巣立つ生徒たちのために」受験・就職に向かう子どもたちのために」と題し、「最上なものは将来にある」とのNHK朝ドラのセリフを引用しながらお話しいただき、子どもを自立(自律)させる親と学校の役割など、教育改革「生きる力」の育成とも関連した内容を興味深く拝聴しました。

続く懇談会では、村上市の乾杯条例に則り、地酒で乾杯。鮭料理など地産地消と食品ロス削減にご協力いただきました。

巻地区

巻総合高校

PTA会長 小林 直美

巻地区高等学校PTA研修会が、十一月二十一日(木)、割烹「渡辺」にて開催されました。最初に、本会当番校PTA会長でもある、県高P連理事の巻総合高校小林から、北信越地区長野大会参加の報告と研修会資料の説明を含めて挨拶をいたしました。その後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石黒浩司様よりご講話をいただきました。「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」をテーマに、事例を挙げてお話しくださいました。他人事では全くなく今にも起こりうる、子供の命が脅かされる可能性を強烈に意識させられるお話でした。

新潟地区

新津南高校

PTA会長 石川 健一

十一月八日(金)、新潟市秋葉区の割烹一楽を会場に、新潟地区内七校三十三名の参加者で研修会が行われました。

開会の後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石黒浩司様より、学校と保護者が連携していじめ対策や自殺予防に取り組む重要性についてお話をさせていただきました。

続いて、県高P連理事の川上洋様からご挨拶と事務局資料の説明がありました。講話・研究協議



後半は、新潟県いじめ防止対策等に関する委員会委員の吉田金豊様をお迎えし、「いじめへの対策」PTAとしての関わり方」という前半の講話の流れを更に深める内容で講演いただきました。

実際に県内で発生した案件を例に、対策委員会としての取組をお話いただきました。親としてできること、PTAを考えたこと。希薄になりつつある保護者と学校との連携を大切に子供達の教育環境を守ろうと、皆で志を一つにし、教育懇談会も和やかな会となりました。

では、講師の新潟弁護士会学校へ行こう委員会弁護士佐々木智之様から「いじめ予防授業」と題して、法律家の立場から、いじめ防止対策推進法の定義や、インターネットの世界でトラブルに巻き込まれた場合の対処法等について、丁寧にお話をいただきました。

その後、後半の講演では、新潟県空手道連盟副理事長の佐伯進様から「スポーツと社会性」と題して、スポーツが子どもたちの心身における発達や社会性を高め、適切な人間関係を築くことに役立つかなど、熱く語っていただきました。いじめ対策につながるアドバイス等もあり、とても時間が短く感じられる、有意義なお話でした。

研修会後の懇談会では、各学校会員と様々な情報交換ができ、有意義な時間を過ごすことができました。





長岡地区 中越高校

PTA会長 金子 英高

十一月一日(金)にアトリウム長岡を会場に、令和元年度長岡地区PTA指導者研修会を開催いたしました。新元号となり初めての記念すべき研修会です。平成から令和へ元号が変わり、平成の時代に貯めていたエネルギーが大きく流れ始めているかの如く、研修会は終始活力で溢れているように感じました。

最初に県高P連副会長で長岡高校親師会長の長谷川佐久信様より挨拶を賜り、次に全国高P連の大会報告を長岡大手高校PTA会長の岡部恒夫様よりいただきました。その後、県教育庁生徒指導課副参事の久保俊幸様より「いじめ対策・自

魚沼地区 小千谷西高校

PTA会長 櫻井圭一郎

十一月十九日(火)、JA越後おぢやグリーンパークを会場に、魚沼地区高等学校PTA研修会を開催いたしました。



最初に県高P連理事で小千谷高校PTA会長の田中稔様から開会の挨拶をいただいた後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石黒浩司様よりご講演をいただきました。

殺予防」についての現状を説明していただきました。

続いて、長岡大学副学長 鯉江康正様の講演会「人口減少社会における地域の在り方を考える」に移りました。講演内容は、人口減少社会における地域コミュニティの創造について考える素晴らしい機会となりました。懇談会も盛大に盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができました。



きました。

研究発表では、堀之内高校、塩沢商工高校、津南中等教育学校の三校から、各校の活動内容や課題等について素晴らしい発表を行っていただきました。

後半の講演会では、株式会社農プロデユース「リッツ」代表取締役社長の新谷梨恵子様をお迎えし、「願イモ叶う」帰ってきたくなるふるさと作り」と題してご講演をいただきました。六次産業化プランナーや起業のこと、TV出演のエピソードなどを楽しくお話ししていただき、参加者の方々にも大変好評でした。新谷様にはその後の懇談会でも更にお話をいただくなど、大いに盛り上がりました。各校の交流の場となり、情報交換も行うことができた、実に有意義な研修会となりました。

三条・燕・加茂地区 加茂農林高校

PTA会長 高波 美雪

十一月二十九日(金)、三条ロイヤルホテルにおいて、三条・燕・加茂地区の高等学校・中等教育学校七校四十二名でPTA指導者研修会を開催しました。

はじめに、県高P連理事の三条東高校PTA会長大山隆夫様からPTA活動に対する強い思いや、県・北信越・全国高P連の大会報告、令和二年度の計画などを伺いました。次に、県教育庁生徒指導課副参事の関口和之様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」と題して講話をいただき、改めて学校との連携や家庭の役割の大切さを感じました。

柏崎地区 柏崎高校

PTA会長 高橋 武

柏崎地区高等学校PTA研修会は、十一月十九日(火)、柏崎ソフィアセンターにて開催されました。

まず、地区高P連会長の尾崎和彦様よりご挨拶がありました。続いて、県教育庁生徒指導課副参事の久保俊幸様より「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防」についてお話を



研修会の後半では、フリーアナウンサーの伊勢みずほ様、新潟医療福祉大学准教授の五十嵐紀子様から「がんのち、暗れ言葉の力、つながる思い」と題して、示唆に富んだ講演をいただきました。お二人は、がんに向き合ってこられた経験を踏まえて、「話すことは放すこと」との思いや、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」の取組などを話されました。「がんになっても大丈夫と思える社会」を皆でつくりたいとお話が強く印象に残りました。

また、研究発表として、柏崎高校PTA会長の私、高橋より、本年度のPTA活動報告を発表しました。休憩を挟んで、柏崎信用金庫の馬場康弘様より「柏崎今昔物語・星野藤兵衛とその生き方」について講演をいただきました。自分の知らない地域の歴史、戦火から逃れた経緯などを知り、己の信念に基づき行動する精神と常に他人より先を読む先見の明を持つことが大事であることに気付かされました。



高田・直江津地区 久比岐高校

P T A 会長 立川 綾子

今年度の研修会は、十一月二十二日(金)にホテルハイマートにて開催されました。当番校会長として、各校役員と先生方のご協力に、御礼申し上げます。



会でははじめに、北信越高P連研究大会長野大会と全国高P連大会京都大会の報告が行われました。続いて、ベネッセコーポレーションの黒川寛様から「令和二年度高大接続の情

報整理とポイント」としてご講演をいただきました。

更に、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石黒浩司様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」としてご講演を、最後に、いじめ見逃しゼロ県民運動サポーターである、モデルの今井美穂様から「自分を大切に生きる生き方」としてご講演をいただきました。子どものお話を受容すること、短所ではなく個性ととらえることの大切さなど、石黒様のお話を裏付ける、今井様の体験に基づいたお話は説得力がありました。

保護者として、日々の子どもの様子や変化への気配り、学校との連携、嫌な気持ちや打ち明けられなかった共感してあげる事が大事であるということも学べ、有意義な研修となりました。

佐渡地区 佐渡中等教育学校

P T A 会長 木下 暢男

今年度の佐渡地区研修会は、十一月十三日(水)、湖畔の宿吉田屋を会場に開催しました。

はじめに、県高P連会長の佐藤康司様よりご挨拶をいただき、その後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石黒浩司様の講話を拝聴しました。

今年の研究協議は「SNS利用における生徒・保護者の実態について」という課題で、佐渡高校P T A副会長の石倉なるみ様から発表がありました。

休憩を挟んで、佐渡市役所観光振興課長の祝雅之様から、「観光実態から考える佐渡の未来」と題してご講演いただきました。平成のはじめと、おわりで、観

光客が半減していること、インバウンドのこと、そして、観光客誘致の最強のプロモーションは「口コミ」であることなど、とても興味深いお話でした。

参加者は、五校七十七名、研修会後の交流会には四十名で、和やかな雰囲気の下で終了することができました。



各校、P T A 役員、会員、教職員の皆様、ご協力いただき、ありがとうございました。

県高P連総会・安全互助会総会開催予告 六月五日(金)にイタリア軒で

日時 令和二年六月五日(金)

十二時三十分～十七時

会場 ホテル イタリア軒(新潟市)

例年どおりの日程と内容で実施します。ここでの提案発表者には、七月の北信越福井大会でも発表していただきます。

- (1) 高校教育とP T A 十日町 高校
- (2) 進路指導とP T A 高田北城 高校
- (3) 生徒指導とP T A 巻 高 校
- (4) 家庭教育とP T A 新潟北 高校

北信越地区高P連研究大会開催予告 令和二年度は福井市で開催

期日 令和二年七月十日(金)・十一日(土)

会場 福井フェニックスプラザ 他

(福井市田原一十三一十六)

大会テーマ 全国大会に準ずる

北信越地区の中では新潟県から最も遠い福井県での開催になりますが、他県の取組を知るよい機会です。奮ってご参加ください。各単Pからの申込みは、五月初旬の予定です。

全国高P連大会開催予告 令和二年度は島根県で開催

期日 令和二年八月二十日(木)・二十一日(金)

会場 くにびきメッセ

島根県立産業交流会館、他 (島根県松江市学園南一―二―一)

分科会会場は、松江、安来、雲南、出雲大会テーマ 「縁(えん)づくり」

サブテーマ

「いい縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ」

出雲地方では、旧暦の十月には全国から神々が集い、自然・人・ものなどあらゆる「縁」を話し合うと言われています。その島根の地で全国の会員が出会い、子どもたちの健やかな成長と高校教育を取り巻く諸課題の解決に向けて協議を重ね親交を深めることにより、新たな「縁」を生み、更には、子どもたちが日本のみならず世界へと、豊かな「縁」を紡いでいけるようにという願いが込められています。新潟県の各単Pからの参加申込みは、六月初旬の予定です。多数の参加をお待ちしています。

【調査広報委員会委員】

- ◎新潟工業高校P会長 榊山 義宏
- ◎新潟高校P会長 畑野 裕之
- ◎新潟南高校P会長 海老名忠宏
- ◎新潟西高校P会長 菊池 真理
- ◎新潟南高校P会長 市川 亮
- ◎新潟北高校長 上杉 一浩
- ◎新潟商業高校長 仲野 孝
- ◎新潟中等教育学校長 上野 昌弘
- ◎新潟向陽高校長 宮崎 和子
- ◎委員長 (事務局所在地) 新潟向陽高等学校
- ◎事務局 新潟市江南区亀田向陽四一三一 TEL〇二五(三八二)三三二二 FAX〇二五(三八二)一八三二

編集後記

昨年秋、ラグビーワールドカップが日本で開催され、本県出身の稲垣選手が大活躍しました。目標のベスト8を達成し、日本中に勇気と感動を与えてくれました。そして、今年の夏は、いよいよ東京オリンピックが日本で開催されます。日本選手の活躍に期待し、新たな勇気と感動を与えてもらえるよう、テレビの前で一生懸命応援したいと思っています。

(調査広報委員長)